

平成 29 年 6 月 7 日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目 5 番 1 号
株 式 会 社 カ イ カ
代表取締役社長 牛 雨
(J A S D A Q : 2 3 1 5)
問合せ先:取締役 矢沼 克則
Tel 03-5657-3000 (代表)

第 5 回新株予約権の行使に伴う調達資金に関する
資金使途および支出時期の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成27年6月1日付で開示しました「第三者割当による新株式(現物出資(デッド・エクイティ・スワップ)および金銭出資)の発行および第5回新株予約権の発行、親会社および主要株主の異動ならびに株式会社ネクスグループとの資本業務提携に関するお知らせ」の第5回新株予約権(以下、「本新株予約権」といいます。)の行使に伴う資金使途および支出時期の一部変更を行うことを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資金使途および支出時期の変更理由

本新株予約権の発行時においては、調達資金は金融機関への借入金返済に充当する予定であり、本新株予約権の行使が予定どおり行われず、調達見込額に満たない場合は、手元資金により借入金を返済していく旨を開示しております。

平成27年3月31日時点で約92.7億円であった当社の借入金は、平成29年4月30日現在、約6.2億円まで順調に残高を圧縮しております。

平成27年10月27日付「第三者割当による新株式の発行により調達した資金の使途および支出時期の変更に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、お客様のご理解と、外注費やその他経費を徹底して削減したこと等により、当初に想定していた所要の運転資金が減少したことから、運転資金へ充当する予定であった約10.5億円のうち、約8.5億円を金融機関への借入金の返済として支出いたしました。

その後も当社は、新株予約権の行使により得られた資金、約16.9億円全額を返済資金に充て、不足分は手元資金から支出することで着実に借入金の返済を進めてまいりました。

今後、新株予約権の行使がさらに進んだ場合、得られる資金が当社の予定している借入金返済額を上回ることが予想されることから、今回資金使途の変更を決定いたしました。なお、新株予約権が行使されなかった場合は、借入金返済は手元資金から支出いたします。

当社はフィンテック関連分野の急速な拡大のチャンスを活かし、中期計画の達成を目指すとともに、システムインテグレーター企業としてさらなる成長を図るため積極的にM&Aを行う方針であります。現時点では具体的な引き合いはございませんが、変更後の約12.3億円の資金使途は資本提携およびM&A資金に充当させて頂きたいと考えております。なお、資本提携およびM&Aが実現に至らなかった場合は運転資金へ充当させて頂きたいと考えております。

2. 資金使途および支出予定時期の変更内容

資金使途および支出時期の変更内容は以下のとおりです。変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

具体的な使途	金額	支出予定時期
金融機関への借入金返済	約40.8億円	平成27年6月～平成29年6月
合計	約40.8億円	

(変更後)

具体的な用途	金額	支出予定時期
金融機関への借入金返済 ^{※1}	約28.5億円	平成27年10月～平成29年12月
資本提携およびM&A資金 ^{※2}	約12.3億円	平成29年6月～平成30年6月
合計	約40.8億円	

※1 一時的に手元資金から支出した約5.4億円を含みます。

※2 資本提携およびM&Aが実現に至らなかった場合は、運転資金に充当させて頂きたいと考えております。

3. 業績に与える影響

本件による業績への影響は軽微であり、平成28年12月20日に開示した連結業績予想から変更はありません。

以 上

(参考)

平成29年10月期（平成28年11月1日～平成29年10月31日）連結業績予想および前期（平成27年11月1日～平成28年10月31日）実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期予想 (平成29年10月期)	6,000	454	441	383
前期実績 (平成28年10月期)	5,337	238	131	392